

令和元年六月二十一日提出
質問第二七四号

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における福祉タクシーの利用等車いす
を利用する方の受入体制に関する質問主意書

提出者 宮川 伸

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における福祉タクシーの利用等車いす
を利用する方の受入体制に関する質問主意書

世界中からあらゆる人が集う二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「競技大会」という。）の開催は、我が国が成熟社会における先進的な取組を世界に示し、ユニバーサル社会の実現に向けて社会の在り方を前進させる契機であり、より充実したバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進していく必要がある。

特に、国内外より障害のある方や高齢者を含む多くの方が開催地を訪れることから、全ての人にアクセスしやすくなる大会を実現する上で、空港からのアクセスルート等を中心に、車いすを利用する方のため、高い水準のバリアフリー化を推進する必要がある。

以上を踏まえ、車いすを利用する方に対する受入体制について、以下質問する。

- 一 車いすを利用する方は、競技大会開催期間及びその前後の期間中、一日何人程度成田空港を利用すると予想しているか。

- 二 車いすを利用する方は、競技大会開催期間及びその前後の期間中のピーク時に、一日何人程度成田空港

を利用すると予想しているか。

三 車いすを利用する方が成田空港から東京都内にタクシーで移動する場合、ユニバーサルデザインタクシーが対応することになるのか。その場合、ユニバーサルデザインタクシーと一般タクシーは同じタクシー乗り場になるのか、あるいは専用の乗り場を用意するのか。

四 体の大きい方や電動車いすを利用する方などユニバーサルデザインタクシーに乗車できない方用に大型の福祉タクシーを用意する予定はあるのか。予定がある場合は専用乗り場が用意されるのか。予定がない場合は、そういった方々の対応はどのように考えているのか。

五 成田空港だけではなく、羽田空港や東京駅など主要な公共交通の拠点には車いすを利用する方が利用できるユニバーサルデザインタクシーや大型の福祉タクシーの専用乗り場は確保される予定か。予定がある場合は具体的にどこが想定されているか。

六 ユニバーサルデザインタクシーに車いすを利用する方が乗車するには時間と手間がかかるので、乗車拒否されることが懸念されている。乗車拒否が起らないように何か対策を講じているか。

右質問する。